NPO法人ベースボール・レジェンド・ファウンデーション
BASEBALL LEGENDS FOUNDATION

Since 2014

設立の経緯：BLFのコンセプト

2013年4月のボストンマラソンテロ事件後
ボストンレッドソックスとメジャーリーグ機構が**1ヶ月**で集めた寄付金は

219万ドル（約2億1900万円）

これらはすべて、テロの負傷者や犠牲者の遺族への寄付に。

その背景にはあるのは「アメリカの社会貢献活動の充実」。
米国球界では

小児ガン基金への寄付、子供の就学支援（奨学金）、負傷した兵士の生活サポート、生活が困難な地域住民の社会復帰支援、子供の教育プログラムの提供

など、野球とは直接的に関係ない**一般市民のサポート**が進んでいる。

だから、アメリカには「**野球のおかげで人生が救われた**」という人が多い。
野球は人々にとって「なくてはならないもの」なのである。

さらに、
「好きな選手のチャリティーアイテムをゲットしよう」
「アイスクリーム食べ放題のイベントに参加しよう」（これらの収益はすべて寄付に）
といったように、「楽しんでチャリティー活動をする」ことも盛んである。

スポーツの現場ならではの楽しいチャリティーを取り入れながら
野球を通して困っている人の支援をすることにより
日本の野球を、“なくてはならない文化”に変えていきたい。

そんな思いのもと、BLFは2014年より活動をスタート。

活動内容①：選手・球団の慈善活動サポート

■ライオンズカロリーオフセットプログラム2015

2015年7月～8月の埼玉西武ライオンズホームゲーム15試合にて、選手がプレー中に消費したカロリーと、ファンが応援で消費したカロリーをお金に換算し、台風被害を受けたフィリピン・レイテ島の農業支援のために寄付。

■ライオンズカップ車椅子ソフトボール大会（2015年～）

2015年から行われているこの大会をBLFはボランティアスタッフ派遣によってサポート。

■中日ドラゴンズ吉見一起投手
アゲインボールプロジェクト（2015年～）

勝利数に応じて、障害者が修繕した硬式野球ボールを購入（障害者就労支援）。買い取ったボールは全国の少年野球チームに寄付。BLFはこの活動をサポート。

■阪神タイガース岩田稔投手
1型糖尿病患者支援（2015年～）

自身が1型糖尿病と戦いながら現役生活を送り、
「IWATA PROJECT21」を通して同じ病気を抱える人たちを支援。
BLFは出版プロデュースなどを通してその活動の啓発をサポート。

※BLFは、これらのサポート活動を無償で行っています。

活動内容②：独自のチャリティープログラム

■硬式野球ボール修繕による障害者就労支援

使えなくなった硬式野球ボールを高校や大学等から回収し、障害者の就労支援を行う夢工房翔裕園にて修繕。１球400円でBLFが買い取り、その収益が障害者の工賃に。ボールはプロ野球選手やOBのサイン入りでBLFの支援者にプレゼント。

■障害者スポーツ支援Tシャツプロジェクト

障害者スポーツ支援を行うブランド『REAL HERO』とのコラボレーションでチャリティーＴシャツを販売し、収益の一部を障害者スポーツや障害者アスリートの支援に。

アーミーグリーン　　ブラック　　ネイビー

選手・ファン参加型の楽しいチャリティー

■シーズンオフのBLFチャリティーオークション

プロ野球選手・OBが実使用アイテムやオリジナルグッズなどにサインを入れて、Yahoo!の社会貢献チャリティーオークションプログラム「reU funding」に出品。収益は震災支援の寄付金やBLFが関わる障害者支援などの活動費に充当。

■寄付者へのプレゼントキャンペーン

障害者の方々が修繕した再生ボールにプロ野球選手・OBがサインを入れてBLFの支援者にプレゼント。

これまでチャリティーオークションや寄付者へのプレゼント提供などで
BLFに協力したプロ野球選手・OBは63名！！

青木宣親、秋山翔吾、アレックス・ラミレス、新井良太、石井一久、石井琢朗、糸井嘉男、井端弘和、今成亮太、岩田稔、岩村明憲、入来祐作、岩隈久志、上林誠知、上原浩治、内川聖一、大瀬良大地、大塚晶文、大隣憲司、緒方耕一、小川泰弘、掛布雅之、金本知憲、唐川侑己、菊池涼介、木田優夫、久古健太郎、国吉佑樹、栗山巧、桑田真澄、後藤武敏、斉藤和巳、佐伯貴弘、佐野慈紀、澤村拓一、篠塚和典、島袋洋奨、下水流昂、菅野智之、鈴木誠也、炭谷銀仁朗、高橋尚成、坪井智哉、鶴岡一成、中島裕之、中村悠平、仁志敏久、西勇輝、西口文也、野村弘樹、桧山進次郎、福田永将、前田健太、三浦大輔、宮本和知、柳田悠岐、薮田安彦、山崎武司、山口俊、吉田正尚、吉見一起、涌井秀章、和田毅（敬称略、五十音順）

BLFサポーター会員制度や寄付箱での支援も受付中。

BLF支援実績（2015～2017）

■震災復興支援
熊本地震義援金として熊本県に69万4119円を寄付。
熊本地震災害緊急支援金として、NGO「ピースウィンズ・ジャパン」に25万円を寄付。

■障害者スポーツ支援
「日本車椅子ソフトボール協会」に10万円を寄付。
車椅子スポーツ・アスリート支援のＴシャツを販売し、売上の一部を寄付。

■障害者就労支援
障害者による硬式野球ボール修繕事業を行う「夢工房翔裕園」にて、10万円分の再生ボールを購入。（売り上げは障害者の工賃に充当）
中日ドラゴンズ吉見一起投手のアゲインボールプロジェクト（再生ボールによる障害者就労支援）をサポート。

■難病の子どもの支援
難病の子どもの夢を叶える団体「メイク・ア・ウィッシュ」に10万円を寄付。

■開発途上国支援
埼玉西武ライオンズの「ライオンズカロリーオフセットプログラム」（台風被害に遭ったフィリピン・レイテ島の農業支援金として65万425円を寄付）をサポート。

■1型糖尿病基金の支援
阪神タイガーズ岩田稔投手の著書『やらな、しゃーない！1型糖尿病と不屈の左腕』（角川書店）を企画プロデュースし、印税の一部を寄付。

団体情報

団体名：NPO法人ベースボール・レジェンド・ファウンデーション（BLF）

所在地：東京都中央区東日本橋2丁目28番4号日本橋CETビル2階

設立年月日：2014年7月1日（2014年11月4日NPO法人登記完了）

代表者：岡田真理（スポーツライター）

ホームページ：http://blf.or.jp

ミッション：野球というスポーツの価値を向上させ、単なる娯楽ではなく「なくてはならない文化」に成長させるべく、「野球によって人生が救われた」「野球に助けられた・励まされた」という人を増やすこと。それを実現させるために、野球を通した慈善活動をプロ野球選手・球団とともに推進していくこと。

活動内容：(1)プロ野球選手・球団の慈善活動サポート
(2)野球に関わる独自の慈善活動実施
(3)その他、上記のミッションを達成するために必要な活動

【代表者プロフィール】

立教大学文学部卒業後、カリフォルニア大学バークレー校エクステンションにてマーケティングのディプロマを取得。帰国後、プロアスリートのマネージャーを経て2007年よりスポーツライターとして活動。『週刊ベースボール』『パ・リーグＴＶ』『読む野球』『がっつり！プロ野球』『スポーツナビ（プロ野球・MLB）』『Baseball Gate』などの野球媒体のほか、『現代ビジネス』『東洋経済オンライン』などビジネスサイトでもアスリートインタビューやスポーツコラムなどを執筆。 2014年にNPO法人ベースボール・レジェンド・ファウンデーションを設立。北海道日本ハムファイターズ増井浩俊らが参画する『プロ野球静岡県人会』の事務局長、および侍ジャパンU12監督仁志敏久主宰の野球振興プロジェクト『ホームベースクラブ』の運営スタッフも務める。2017年7月に准認定ファンドレイザー資格を取得。